

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	セレニテ江坂町一丁目 新築工事	階数	地上10F
建設地	大阪府吹田市江坂町	構造	RC造
用途地域	市街化区域、防火地域	平均居住人員	117 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年4月 予定	評価の実施日	2023年3月10日
敷地面積	871 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 AR設計 下川 誠之
建築面積	555 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	4,556 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	98%
③上記+②以外の	98%
④上記+	98%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.6

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

音環境	3.3
温熱環境	2.4
光・視環境	3.1
空気質環境	3.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

機能性	2.5
耐用性	2.9
対応性	2.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性・	2.5

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 2.9

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

建物外皮の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.4
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

水資源	2.2
非再生材料の	3.1
汚染物質	2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

地球温暖化	3.0
地域環境	2.3
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	共用部において使用する照明にはLED照明を採用し、明るさセンサーやタイマーにて制御をすることでエネルギー消費量を抑えています。	その他
<b>Q1 室内環境</b>	F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用し、化学汚染物質による空気質汚染を回避しています。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 緑地を適度に設けてまちなみや景観に配慮しています。
<b>LR1 エネルギー</b>	住戸内の照明にもLED照明を採用しています。	<b>LR3 敷地外環境</b> LED照明を採用して設備システムの高効率化を図っています。
<b>Q2 サービス性能</b>	給排水配管において更新必要間隔の長い配管を使用したり、維持管理しやすい設計となっています。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	躯体+軽鉄+仕上材のデテイルを採用しています。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0174

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	セレニテ江坂町一丁目 新築工事							
	建設地	大阪府吹田市江坂町							
	用途/区分	集合住宅							
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B-					
①	CO2削減			3					
②	みどり・ヒート アイランド対策			2					
③	建物の断熱性			3					
④	エネルギー削減			3					
⑤	自然エネルギー直接利用			○					
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

## エネルギー消費量の報告

対象外

### 【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.0	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	3
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.4	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

### その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		